

バスラ日誌(10月7日)

- 1 本日 [] に参加。本会議は、
[] である。
- 2 本日、[] に不具合が生じ我々も情報収集に苦勞したが、MND (SE) 司令部においてもFRAGOの処置が遅れる等の支障が出た。通信手段が多岐・複雑・便利なものになっても、これが不通になった場合の予備手段を準備し不測事態に対処する訓練が必要で、この不測事態には基本・基礎(従来の口頭・文書による命令下達や連絡・報告等)が重要であると感じた。[]
- 3 昨日 [] が攻撃された事案について、恐らく「[] には対弾施設があるのか?」とご心配下さった方がたくさんいらっしゃると思いますのでご報告します。「写真1」は我々が勤務する司令部の屋上(元バスラ空港ホテル)から宿営地を撮影したもので、中央に見える白いアーチ状の屋根に覆われたコンテナハウスに居住しております。「写真2」で緑色のコンテナハウスがアーチ状の屋根に覆われているのが良くわかると思います。サマワからバスラに訪問した方に毎回説明していますが、これは耐弾性のものではなくただの「日よけ」です。

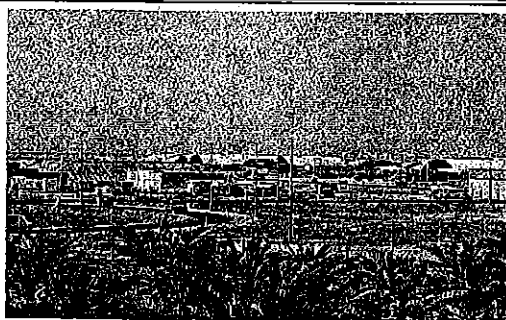


写真1

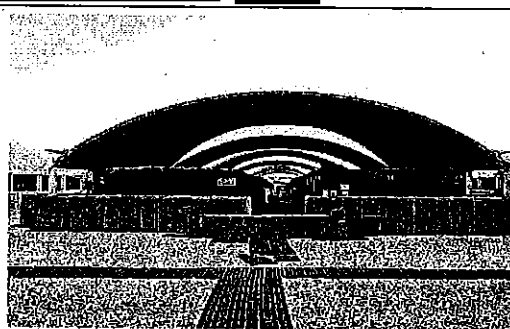


写真2



スミッティLO日々業務報告(10月7日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし:Jupiter Alert State [] Threat Level []
2 特記事項	[]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 デモ情報、先日の葬儀遺体事案の写真関連(AMTGから)、外務省からDBEに対する無線機供与関連(LDから) (2) 各種業務調整等 曹友会のスミッティ研修 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整 曹友会のスミッティ研修 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	(1) 明日の英・豪軍等の射撃 Range1-4 0700-1800 LD(小火器) (2) 明日の英・豪軍等の随自宿営地訪問 豪軍POLAD訪問(CIMICのための豪軍エスコートと同行)